

令和7年度 7月の補導活動

佐久市少年センター

1 街頭補導実施回数	15 回
2 延べ従事補導委員数	66 人
3 相談件数	0 件
4 補導した少年数	0 人
5 声かけ人数	287 人



7月の活動日誌から

7月1日（火）

街頭啓発活動（岩村田駅頭）

5・6班（T・R）記

概要



7月は、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあたり、中でも「あいさつ」の大切さを重視し、今回は岩村田駅にて「信州あいさつ運動」を実施しました。電車に乗降する生徒さんや利用者にメッセージ入りのウェットティッシュをお渡ししました。こちらの「おはようございます」に気持ちの良いあいさつを返してくださる生徒さんが多くいました。大変うれしく思いました。遠距離の小学校に通うのか、まだまだランドセルの方が少し大きく感じる小学生がお父さんに

送られてきました。お父さんから「あと15分したら来る電車に乗るんだよ。あそこの時計を見ておくように」とロータリーの時計を指してもらい、こっくり頷くほほえましい場面がありました。朝から日差しの強い日でしたが、さわやかさを感じる活動ができました。

7月3日（木）

18班（K・T）記

巡回経路

浅科支所 → 十二川原公園 → 塩名田公民館 → 浅科警察官駐在所
→ こまよせ児童公園 → 泉公園 → 浅科支所

活動の様子

午後4時に浅科支所に集合し、まず、十二川原公園に行きました。スケートボード用の施設があったり、バスケットボール用のゴールポストがあったりと、素晴らしい施設がある公園でした。子どもたちはいませんでした。先月、地区で草刈りをしたようですが、また草が伸びていました。塩名田公民館では、不登校になった児童・生徒が勉強する「チャレンジ教室」があるということを知りました。午後3:00で終了のようでした。浅科警察官駐在所を訪問し、警察官から浅科地区の犯罪情勢などをお聞きしました。こまよせ児童公園・泉公園には、子どももいなかったのを前を通り過ぎることとしました。「浅科ほのかホール」の前を通った時には「素晴らしい施設です。もっと有効に活用できないか」とい

った話も出ました。支所に戻り今回の活動を終わりました。次回は、8月14日 花火大会の日です。

7月4日（金）

3班（T・H）記

巡回経路 浅間会館 → 大型スーパー

活動の様子

激しい雨脚、遠くから雷鳴が聞こえる中、車を運転して集合場所の浅間会館に向かいました。途中、雨脚は益々強くなり、ワイパーを高速にしても前方が見えない状態でした。会館駐車場に着くと、雷の光と音がほぼ同時となり、鋭い光と地響きのような音がし、まさにバケツをひっくり返したような雨となり、車から降りることができませんでした。雨脚が若干弱くなったすきを狙い、会館の建物内に走って入りました。このような天候なので、今日の活動は大型スーパーなどを巡回することになりました。会館内の学習室には、利用者はいませんでした。会館を出ようとした時、母親と3名の児童が服をびしょびしょにして会館に入ってきました。「習字を習いに来た」とのことでした。母親は「こんな雨は初めての経験です。マンホールの蓋が吹き飛んだのか水が噴水のように上がり、道路は川のようになっていました」と現在の状況を話してくれました。子どもに「怖かった？」と聞くと、3名の子どもは、一斉に頷きました。その後、車で大型スーパーに向かいました。道路は川のようになり、また、交差点付近の2か所からは水が噴水のように高く上がっていました。処理しきれなくなった水がグレーチングの穴から噴き出していたようでした。大型スーパーのフードコートやゲームコーナーには、いつもと比べ、お客はあまりいませんでした。



※ 佐久市のこの日の雨量は次のとおりでした（専門補導委員 調べ）

- ・ 日最大 10 分間降水量は 25.0 mm （観測史上 1 位）
- ・ 日最大 1 時間降水量は 52.0 mm （観測史上 2 位）

7月5日（土）

13班（T・M）記

巡回経路 中込駅 → 横町公園 → グリーンモール → サンテラス(駐車場)
→ 成田公園 → コンビニ → 佐太夫町公園 → 中込駅

活動の様子

中込の七夕まつりのステージ発表が開催されている中の夜間巡回であったので人ごみの中で行いました。暗い横町公園で親子連れに声をかけましたが「すぐに帰る」とのことでした。屋台の周辺には子どももいましたが、親子連れが多く、子どもだけのグループは1、2組ぐらいで、明るい場所を探して帰りの迎え待ちなどがほとんどでした。駐車場や公園など暗い場所には人も少なく、七夕会場内を一周して中込駅に戻った時に中学生5人組に声をかけましたが、迎えの車待ちでした。全体で親子連れが多かったです。21時を帰る基準にしている子どもが多いと感じました。

7月7日（月）

7班（S・K）記

巡回経路

大型スーパー → 砂田公園 → 市民交流ひろば
→ 大型スーパー（フードコート・ゲームコーナー）

活動の様子



大型スーパーに集合した後、公用車にて、砂田公園、市民交流ひろば、ミレニアムパークと巡回しました。砂田公園には誰もいませんでしたが、市民交流ひろばには、数組の親子連れの姿が見られました。スマートフォンで遊んでいた2人の小学生に、雨が降りそうなので気を付けて帰るように伝えました。大型スーパーのフードコートには、大勢の高校生の姿が見られました。文化祭の片付けが終わり、来店したそうです。ゲームコーナーやプリクラコー

ナーにも普段以上に多くの高校生が遊んでいました。ランドセルを背負った2名の小学生を見かけ、事情を聞きました。

7月9日（水）

専門補導委員 記

巡回経路

生涯学習センター → 東田公園 → 原公園 → 城山公園
→ 多目的グラウンド → 生涯学習センター

活動の様子

暑い日が続くせいか、体調不良の申し出があった補導委員を含め3名が欠席となり、専門補導委員1名による巡回となった。生涯学習センター1階では、小学生から高校生までの児童・生徒らでにぎわっていた。友だちと話しながらシール帳を作成している女子児童グループ、宿題だろうか鉛筆を走らせる児童も多く見られた。そんな中、5人グループの女子児童に聞くと、皆が26日の祇園祭を楽しみにしていると話してくれた。一方、高校生の男子生徒2名が問題集に取り組む様子が見えたので尋ねてみると、夏休み明けに期末試験があるので今から対応しているとのこと。真剣な眼差しが印象に残った。東田公園では、人影は見られなかったが、きれいに草は刈り取られていた。原公園も人はいなかった。城山公園に行くと2人の中学生男子生徒が額に汗をかきながら、トレーニングをしていた。盛んにステップを踏んでいる生徒に聞くと、陸上の砲丸投げのフォーム固めのためのステップを繰り返し練習しているとのことだった。2週間後に4種競技の大会にエントリーするそう。もう一人は、走り高跳びで大会に臨むとのこと。生涯学習センターの勉強に取り組む姿、城山公園で陸上競技のため練習に取り組んでいる姿。内容は異なるものの、目標を持って取り組んでいるようすをみて、思わず応援せずにはいられなかった。

7月11日（金）

8班（H・M）記

巡回経路

大型ゲームセンター → 曾根公園 → ネットカフェ
→ ゲームセンター → パチンコ店 → 小田井児童館

活動の様子

ここ数日、涼しさを感じる気候の中、大型ゲームセンターをスタートした。大型ゲーム

センターには子どもの姿はなく、年配者や数名の外国人が、静かな店内でゲームを楽しんでいた。曾根公園には誰もいなかった。ネットカフェに入るのは初めてで、少し緊張した。カラオケルーム、ビリヤード・ダーツ室に来店客が見られたが、多くのブース席は空いていた。パチンコ店の駐車場は車が少なめで、店内の客も数えるほどであった。空調のきいた休憩室では、2名が読書をしていた。最後に訪れた小田井児童館では、遊戯室に5名、図書室に4名の児童が元気に過ごしていた。本館は、佐久平浅間小学校からかなりの距離があるため、スクールバスが運行されているとのことであった。館を去るころに、迎えの保護者の姿が見られた。

7月15日（火）

2班（S・M）記

巡回経路 浅間会館 → 駄菓子屋 → 東児童館 → 大型ディスカウストア
活動の様子

梅雨明け間近となりましたが、当日は雨が降っており、下校する子どもにとっても大変な様子でした。浅間会館の二階にある「図書館兼学習室」では、社会人1名と高校生1名が静かに過ごしていました。真剣に勉強をしていたので声かけはしませんでした。「音楽室」には、音楽会の準備とのことで、先生1名と生徒1名がいたので、あいさつをしました。その後、駄菓子屋に移動しましたが、臨時休業とのことで、店内の様子や店長さんのお話を聞くことができませんでした。次に、東児童館に移動し、館長さんにあいさつ後、館内を見せてもらいました。訪問時、40人ほどの児童が、図書室等で楽しそうに過ごしており、安心しました。最後に、大型ディスカウストアに行きました。平日の午後5時前の訪問でしたが、子どもの姿はありませんでした。店内には、アダルトグッズの売り場がありましたが、入口に18歳未満の者が中に入らないように「18禁」と書かれた暖簾（のれん）が吊るされていました。中には、多種多様な商品が販売されていることや営業時間が朝9時から深夜2時までと長いこともあり、未成年者の入店には保護者の同行が必要かなという印象を受けました。本日の巡回では、何事もなく終わりましたが、このような巡回は必要であり、また重要であると思いました。

7月16日（水）

14班（K・T）記

巡回経路 中込駅 → 佐太夫町公園 → 横町公園 → 平賀新町公園
→ 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園

活動の様子

夕方から降雨の心配もありましたが、雨が降ることなく中込駅より街頭補導活動を始めました。駅前の歩道には多数の放置自転車があることに目がいきました。水上公園では中学生が野球の投球練習をしており専門補導委員の問いかけに、現在中学3年で今後の進路などの話を聞くことができました。平賀新町公園では高校生2人が会話をしている姿がありました。橋場公園では児童2名の保護者より学校及び日常の話を聞くことができ、2名の児童は兄妹とのことで、仲良く楽しそうに遊んでいる印象を受けました。成知公園では複数の小・中学生が携帯ゲームや会話等をしている姿



が見られました。蒸気機関車で遊んでいた中学生には専門補導委員から見学時の説明を受ける場面もあり、携帯ゲームで遊んでいた2人の小学生は得意教科などの話もしてくれ仲の良い印象でした。中込地区の公園を中心に巡回しましたが、声かけした児童はこちらからの問いかけにも抵抗なく素直に応じてくれました。

7月17日（木）

19班（K・M）記

巡回経路 望月支所 → パチンコ店 → スーパーマーケット → 望月宿公園
→ 望月バスターミナル → 望月総合体育館 → 望月支所

活動の様子

梅雨時期の今にも雨が降り出しそうな天気のため、公園や道路で遊んでいる子どもの姿はありませんでした。梅雨が明け、元気に遊ぶ子どもの姿が公園にあればいいなと思いました。スーパーマーケットに移動して、副店長さんから『20歳未満者へのたばこ・酒の販売方法や万引き対策』についてお聞きしました。この店舗では、たばこや酒を販売する際は、20歳未満ではなく、30歳未満と思われる方には、身分証の提示をお願いして年齢確認をしているとのことでした。また、不審な行動をしている人を見かけたら、お店の方が声かけをしているとのことでした。今後も青少年の健全育成についての協力をお願いしました。集合場所の望月支所に高校生のカップルがおり、専門補導委員が世間話を交え自然な感じで声かけをしていました。高校生も和やかに話に応じていました。今後、私もさりげなく若者に声かけができるように努めたいと思います。



7月18日（金）

16班（K・K）記

巡回経路 あいとぴあ → 稲荷山公園 → コスモホール → 下の宮公園
→ 臼田駅 → 下越公園

活動の様子



上記巡回経路に沿って補導活動を行いました。小学校の下校と重なる時間帯でしたが、活動中、児童を見かけることはありませんでした。稲荷山公園は、きれいに整備されていました。遊具で楽しそうに遊ぶ1組の家族に声をかけました。コスモホールに入ると、臼田小学校4年生の親子レクの作品が展示されており、コスモホールと小学校の親密なようすがうかがえました。図書館には高校生と思われる2名が、静かに勉強していました。じゃまにならないように注意しながら

館内を見回りました。図書館の管理者さんにお話をうかがうと、平日の利用者は少ないものの、土・日には利用が増えるとのことでした。また、近くに小学校ができたことによる利用者の変化はないとのこと、低学年の児童は保護者と来館するそうです。全般に問

題はないとのことでした。下の宮児童公園、臼田駅、下越公園を巡回しましたが、子どもの姿はありませんでした。本日は梅雨明けとなり、高温の予報が出ていることから、屋外の活動も控えめだったように感じました。

7月19日（土）

1・4班（S・K）記

巡回経路 浅間会館 → 岩村田祇園祭会場およびその周辺 → 浅間会館

活動の様子

夜とはいえ天候も良く、暑さも残る中で巡回を開始。人口減少のせいなのか経済環境のせいなのか判りませんが、屋台も人通りも20年前と比べると明らかに寂しくなっています。それでも多くの小中高生と思われる若人が思い思いに祭りを楽しんでいる姿に安心する面もありました。まずは荒宿の王城公園（天神山と呼んでいた）を巡回。街灯はありますが四阿（あずまや）付近に街灯はなく暗闇となっていました。問題はありませんでした。本町の大通りに戻り、中央公園を巡回。未就学児を含め、幅広い世代が非日常を楽しんでいました。農協の旧支所から南下し大通りからコンビニ駐車場を巡回。途中、病院駐車場で座り込んでいる若い女性とその女性を介護する20～30代の女性がいました。「大丈夫ですか？」と声をかけましたが「大丈夫です。大丈夫です」と介護している女性が答えたのでその場を去りましたが、去り際に見えた足元の缶ビールが気になりました。その後、斜め向かいのコンビニを巡回。足早に通り過ぎた若者が啜えタバコをしているのが見えました。声かけする間もなく目の前から消え去っていきました。どこの広場も座って飲食している人たちがいますが、ゴミを残していく人が一定数いてモラルの低下が気になりました。それでも若い人たちが生き生きと祭りを楽しむ姿は、いつ見ても良いものです。

7月22日（火）

10班（K・T）記

巡回経路 生涯学習センター → 野沢多目的広場 → レンタルビデオ店
→ 岸野児童館

活動の様子

梅雨が明け、猛暑再来の巡回日となった。集合場所の生涯学習センター1階には、15人ほどの児童・生徒で賑っている。まだ夏休みに入っていないようなので、確認のため声をかけてみる。野沢小学校は24日、地元にある2つの高校は29・30日から夏休みとのこと。それぞれ夏休み中の交通事故、熱中症対策についてお願いする。野沢多目的広場の「人工芝エリア」では高校生5名がバレーボール、小学生6名がサッカーをしており、熱中症予防についてお願いする。また、

施設管理者から利用状況について説明を受けた。「交流施設」は、1日50～60人の利用者がおり、ゴミ箱が設置されていないため、ゴミの持ち帰りをお願いしているが、処理に苦勞しているとのことだった。施設内にはワンコインで利用できる「シャワー室」や「飲食物提供コーナー」等の設備が整っており、今後、大勢の施設利用が見込まれる。レンタルビデオ店では店内を一巡させていただき、今後の協力依頼をお願いした。なお、対象年齢者はいなかった。児童館では、多くの児童が利用しており、火曜日は利用児童が少ないよ



うだが、訪問時、50人近くが利用していた。利用率は、1年生が約100%、その他の学年は約80%とのことだった。また、入退館時、児童は入館時刻・退館時刻を記入しているとのことだった。

7月24日(木)

15班(E・T)記

巡回経路 中込駅 → 中込公民館 → グリーンモール → 成知公園
→ 中込児童館 → 学童保育 → 中込駅

活動の様子

専門補導委3名、補導委員4名の計7名にて最初に中込公民館内を巡回した。続いてグリーンモール巡回、空き店舗が多く学生たちの巣窟になりやすいとのこと。現在、工事のため人通りはなかった。旧中込学校隣りの成知公園では、四阿(あずまや)の中で児童7人ほどがカードゲームで遊んでいた。話しかけると素直に受け答えをしてくれた。また、少し離れたベンチには中学生2名が勉強をしているようすで、話しかけると「来年は3年生なので、今年の夏はゆっくり遊ぶ」とのことだった。先を見て目標を持っていることに感心した。次に中込児童館、学童保育を巡回、多くの児童たちが楽しく遊んでいた。児童館では1年生から5年生、90名ほどが登録されており、学童保育は30名ほどが登録されているそうだ。職員の皆さまには敬服するばかりです。この子たちが成長して非行に走らないことを切に願うばかりです。幼少の時期に親孝行をする、人に迷惑をかけないとの教育を施すことを切に願い巡回記といたします。



7月26日(土)

9・12班(A・M)記

巡回経路 生涯学習センター → 野沢祇園祭会場およびその周辺
→ 生涯学習センター

活動の様子

昼間の猛暑から少し涼しくなった夜の野沢祇園祭会場一円の街頭補導活動を行いました。出発時の生涯学習センター内の『つどいの広場』には、2組5名の高校生が教材を開いて大学受験に向けて勉強中でした。大学受験合格を願う気持ちを伝え、帰宅時の安全についての注意喚起をしました。その後、祇園祭会場(城山公園も含む)に移動。祭り規模はコロナ前より少し縮小傾向の感じでしたが、灯りに群がる夏虫のように大勢の人が来場していました。会場内と城山公園で中学生の複数グループに帰宅時間の確認と安全に帰宅するよう注意の声かけをしました。野沢十二町交差点(けやきの前)に小学生が単独でいたため、声かけをしました。携帯電話で親御さんと待合せの連絡中でした。親御さんと連絡が取れたのを確認し、生涯学習センターに帰還しました。小中高生にとって、この地区の数少ない夏のイベントの一つでしたが、夏休みを楽しく・健康・安全に過ごしてください。

7月29日(火)

17 班 (K・I) 記

巡回経路

臼田交番 → 下の宮公園 → 切原児童館
→ サバイバルゲームフィールド → コスモホール

活動の様子



本日は、私の地元でもある切原地区を巡回する事になりました。まず向かったのは切原児童館です。「猛暑の中お疲れ様です」とねぎらいのことばをかけ入館しました。夏休みの一日開館日(7:30~18:00迄)となり、利用児童は22名でした。猛暑日とあって、館外での活動はなく、子どもたちは、室内で夏休みの宿題、読書、ゲーム、卓球などをしていました。スポーツ好きな私も、卓球の仲間に入り楽しみましたが、負けず嫌いな性分のため、ついスマッシュを打って大人げなさを出してしまいました。一日開館日は、職員4名の交代制で運営しているとの事でした。次に訪れたのは、サバイバルゲームを行っているサバゲーフィールドでした。平日なので誰もいないと思いましたが、数名の方がプレーを終え、休憩所で帰宅の準備をしていました。その中の一人の方にお話を聞く事ができました。その方は、相模原から訪れた今回のゲームの主催者で、本日は13名程でゲームを楽しんだそうです。ゲーム中の様子は見る事が出来ませんでしたが、毎月定期的に大会を企画しており、参加者は年齢層が30~40代で、1人でも参加できるとのことでした。非日常的で不思議な空間に迷い込んだような気がしましたが、サバイバルゲームという共通の趣味をもち、仲間と楽しんでいる方々がうらやましく感じられました。今後も地域の街頭補導活動を通じて、地域の安全が保たれて行ければよいと思いました。

7月の活動を終えて 専門補導委員 (S・T 記)

English Camp(イングリッシュ キャンプ)に参加して

7月27日から29日の3日間 "English Camp in SAKU"が開催された。「望月少年自然の家」で募集による佐久市在住の小学5・6年生児童(研修生)男女28名と学生ボランティア12名、英語外国人講師、ALT12名とともに自然を感じながら、英語をコミュニケーションツールとして過ごすこの活動に参加する機会を得た。内容は、ゲーム、プレゼンテーション、オリエンテーリング、食事作りなどに英語を駆使し、内容ごとの目標を達成するために全員が協力し合うものであった。また、入浴も仲間どうし、就寝も班分けされたテントで学生ボランティア、職員も混じりシュラフ(寝袋)にくるまり寝ると言った日常とは異なる体験をすることも含まれていた。

この活動の前には、2回の事前研修が行われた。初回の事前研修では、両親、家族に引率されながら緊張感をみなぎらせて受付する研修生の姿があった。班分けされ、初めて出会うこととなったメンバーもいたようだが、学生ボランティアが上手に研修生の緊張感を解きほぐし、次第に研修生の声のトーンも上がってきたのが印象的だった。2回の研修を経てキャンプ当日を迎えた。

初日からのキャンプ期間、暑い日が続いた。研修生らの体調管理にも気遣いながらケアをしていた看護師の方も大変だっただろうと感じた。ただ、心配をよそに研修生らは元気に活動をこなしていった。

外国人講師、ALTの方々にも盛んに手振り、身ぶりを織り交ぜながら会話を成立させているようだった。活動の合間には、学生ボランティアも積極的に講師らと会話をしている様子がみられた。事前に講師らから「研修生には通訳しない。教えないように」と言われていたので合間を利用し、生徒自らの研鑽に励んでいる姿も感心しながら見ていた。

夜はテントでの就寝となった。私も研修生とともにテントの中に入り、一晩を過ごした。いろいろな話を聞かせてもらった。彼らは彼らなりに困ったり、悩んだりしていることがあるようだ。悩みの種類は違っても、悩みの深さは変わらない。勉強になった夜だった。

キャンプ最終日には、お世話になった講師らに感謝の気持ち「Thanks Gift」として寄せ書きをした色紙を手渡していた。学生ボランティアのサポートを受けながら、英語を自ら記しての大作である。講師らの喜んでいる様子を研修生とともに見ることができた。

研修生は成長する過程でこの活動が楽しかったと思い出してくれるだろうか。人と協力し合い、目標を達成することの大切さを感じ取ってくれただろうか。今回体験したことを今後に活かしてくれるだろうか。研修生たちの満開の笑顔にそんな期待を抱いたのだった。

English Camp in SAKU 2025/7.27 ~ 7.29



イングリッシュゲーム



テント張り



ランチづくり準備/火起こし



ランチづくり



ランチづくり完了



マレットゴルフ